

しっかり歩きたい方へ オススメ！プチチャレンジコース

1周あたり約 2.1km / 約 25分

POINT

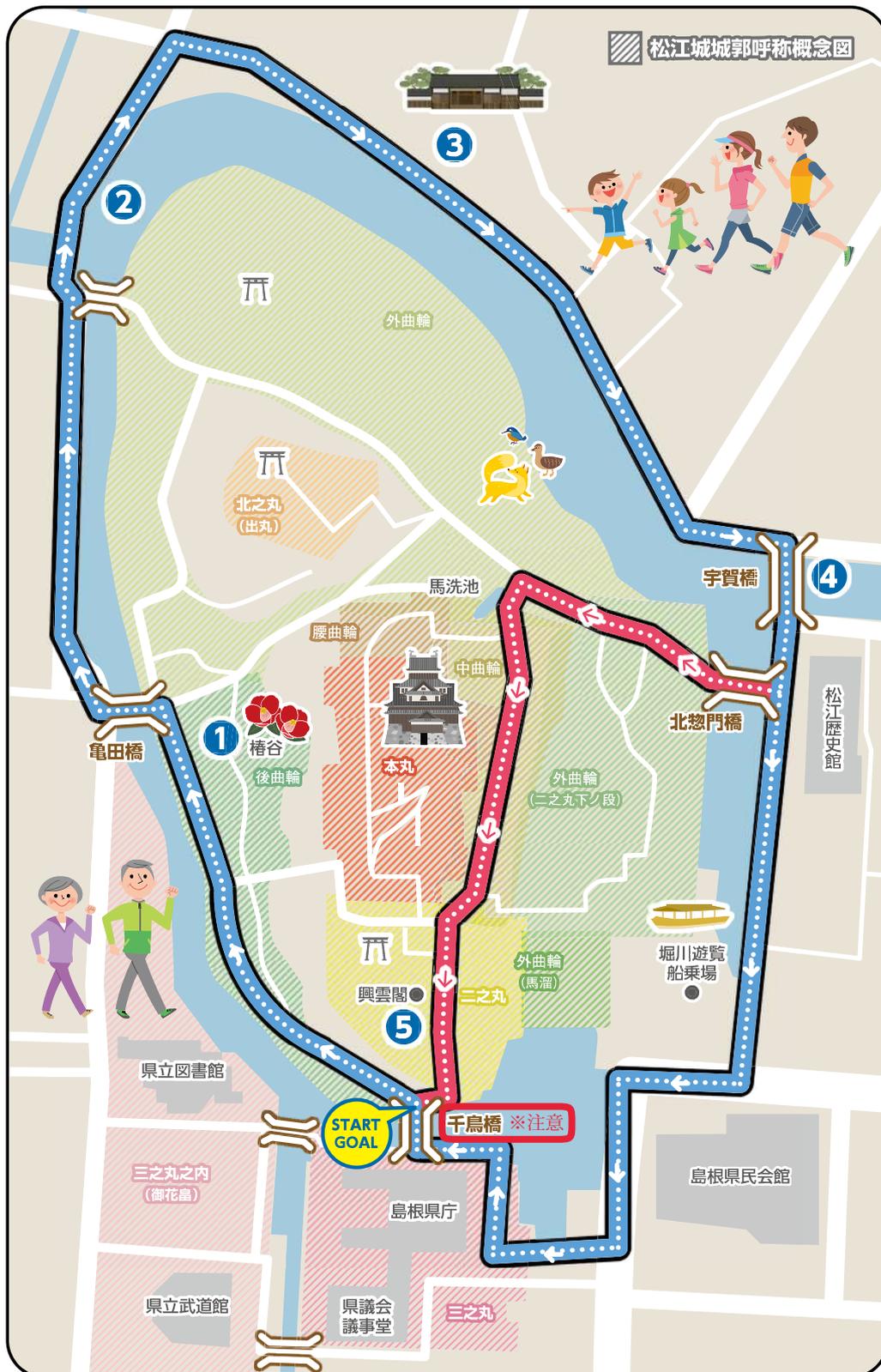
しっかりとストレッチをしてからウォーキングを始めましょう
 どんどん新しいコースを開拓してみましょ！

1km歩くと、約 1,430 歩（歩幅 70cm で歩いた場合）となります

お城の方へ行くルートだと1周約 1.9kmになるよ！



島根県ウォーキング協会×島根県（令和3年5月作成）



START GOAL 千鳥橋

千鳥橋は二之丸の南に位置し、三之丸（現県庁舎）と城山を結ぶ木橋です。
江戸時代には「御廊下橋（ごろうかばし）」と呼ばれ、当時は屋根がついていました。



1 つばきだに 椿谷

松平治郷（不昧）は椿を愛した殿様であり、参勤交代の折に種や苗を持ち帰り、椿谷に植えたものが始まりと言われてます。



野生のヤブツバキのほか、白やピンク、黒に近い赤、絞りなどの花をつける椿も多くみられます。

2 堀川（お堀）

松江城を取り囲む堀川は、松江城築城時に造られました。
松江城周辺の水辺には大木が残っており、お堀の水面ギリギリに張り出した樹木が連続する景観も特徴の一つです。



3 しおみなわて 塩見縄手

かつては武士の家中屋敷が並んでおり、細く伸びる1本道を「縄手」ということ、塩見小兵衛の屋敷があったことから「塩見縄手」と呼ばれています。



4 うがばし 宇賀橋

松江歴史館横の内堀にかかる橋であり、北堀橋を改修する際に仮橋として作られました。その後歩行者専用の橋として残されたものです。



5 こうらんかく 興雲閣

松江市が松江工藝品陳列所として建てた建物で、県内に残る数少ない明治建築です。



明治40年(1907)には、皇太子嘉仁親王（のちの大正天皇）のご宿泊先としても使用されました。

島根県の有形文化財・松江市歴史的風致形成建造物にも指定されています。

※千鳥橋について、令和3年5月6日～令和4年3月31日まで架け替え工事のため通行できません